

日本精線株式会社 2025年3月期（通期）決算説明会 質疑応答（要旨）

開催日 2025年6月4日（水）

出席者 代表取締役社長 利光 一浩

執行役員 木寅 潤一

Q. 中国での太陽光パネルの調整はどの程度続くと想定されていますか

A. ■中国の太陽光パネル市場は、在庫過多により2025年も生産調整が継続するとみている。

■ただ、徐々に回復して2027年にはピークであった2023年と同程度の水準になると考えている。

Q. TOPCon型・HJT型太陽電池において、極細線は顧客からどのように評価されていますか

A. ■スクリーン印刷に使われている方法がPERC型からTOPCon型に切り替ってきていると認識している。

■TOPCon型では、表面に細い極細線が使用され、裏面には若干太い極細線が使用されており、当社が製造している9 μ m他の極細線は加工性にて高い評価を頂いている。

■HJT型については今後の動向を確認していく。

以 上

本資料に記述されております業績見通し等の数値や情報につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。